

第2回 内房小学校のこどもたちの未来を考える協議会 議事録

○日時 令和8年2月25日（水） 午後7時から7時58分まで

○会場 芝川公民館内房分館

○出席

【委員】（欠席1名）

望月 康弘	会長	高木 みどり	副会長	遠藤 哲史	委員
望月 邦哉	委員	遠藤 和斗	委員	勝又 健太	委員
望月 修	委員	遠藤 史郎	委員	中谷 俊雄	委員
近藤 千鶴	委員	鈴木 弘	委員		

【事務局】

石川 佳和	教育部長	佐野 浩市	教育総務課長
斎藤 治	学校教育課長	佐野 達也	学校教育課参事
植松 弘美	教育総務課主幹兼総務係長	土橋 彦六	教育総務課総務係
中村 日出和	教育総務課総務係	佐野 航佑	教育総務課総務係

○次第

- 1 開会
- 2 教育部長挨拶
- 3 議事
 - (1) 第1回協議会の振り返り
 - (2) 他校における意見交換の状況
 - (3) 内房小学校の再編に関する方向性
- 4 次回の予定
- 5 閉会

○会議内容

1 閉会

2 教育部長挨拶

(教育部長)

第2回内房小学校のこどもたちの未来を考える協議会の開催にあたり、一言御挨拶申し上げます。

はじめに、委員の皆様におかれましては、御多用のところお集まりいただき、誠にありがとうございます。

第1回の内房小学校の協議会から本日に至るまでの間、学校再編に関しては各地区で様々な動きがありました。上井出小学校及び白糸小学校におきましては、内房小学校と同様、第1回のこどもたちの未来を考える協議会を先週開催し、統合に向けた一步を踏み出していただきました。

また、後ほど事務局から説明がありますが、芝富小学校及び稲子小学校では、保護者との意見交換会をそれぞれ開催し、芝川地区における統合について様々な御意見をいただきました。

本日は、第2回の協議会になりますが、前回の教育委員会からの提案を踏まえ、委員の皆様におかれましては、内房地区のこどもたちの将来を見据えて、建設的な御意見を頂きますようお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいいたします。

3 議事

(1) 第1回協議会の振り返り

第1回協議会の振り返りとして、下記のとおり説明を行った。

・同じ芝川中学校区である芝富小学校、稲子小学校に話をしたか。

→11月に稲子小学校の保護者と、1月に芝富小学校の保護者と話をしたので、後ほど報告する。

・もっと早くに具体的な案があればPTAとしても話し合いができた。

→第1回で教育委員会から統合に関する提案をし、それを受けたPTAでの話し合いの報告を後ほどPTA会長からしていただく。

・統合に反対する意見に対する回答を取り上げてほしい。

→資料4として、これまでの意見交換会で出た意見に対する回答を示した。

(2) 他校における意見交換の状況

11月22日に開催した稲子小学校の保護者との意見交換会、1月17日に開催した芝富小学校の保護者との意見交換会の内容を報告した。

(委員)

出席したのは全員PTAでしょうか。地域の人も入っているか。

(教育総務課総務係)

全員保護者です。

(3) 内房小学校の再編に関する方向性

(会長)

前回の協議会を踏まえて保護者の中で話し合いが行われたということですので、PTA会長にそのときの内容を説明していただきたいと思います。

(副会長)

小学校で学習発表会が行われたときに保護者の皆さんを集めてお話したんですけど、1回目のときの2年後、3年後という資料を、保護者に配らせてもらって、それを見て、意見をという感じでしたけど、2年後というのはないかなと保護者で思っていたので、3年後になるかならないか、賛成の人もいれば反対の人もいて、資料を見たから何って言葉が出てこないというか、そうなんですかという感想でした。例えば、内房小学校のPTAは統合に反対しますという形になった場合、反対したから、じゃあ終わりではなくて、結局何年後かにまた統合するという形にきつとなるんだらうなということを考えて、もし反対しても統合した場合は、これだけはちゃんと考えて欲しいなというのを3点あげてもらって、これについて必ず先に返事は欲しいという形で、担当の方にお伝えしました。一つ目が登下校のバスの件、時間としては朝1本、帰り1本とかではなくて、1年生の下校時間と5、6年生の下校時間は違うので、そういうのをちゃんと考えてバスを出してもらえるのか。あと、放課後の学童の人数が増えるので、その場所に人数はちゃんと入るのかというのが二つ目です。三つ目は統合した場合の学校名を新しくしてもらえるのかどうかを最低でもその三つは、大きい3点として、先にお返事を欲しいということで話は終わりました。

(会長)

今の説明を受けて、事務局から説明をしていただけますか。

(教育総務課総務係長)

それでは、ただいまの副会長からご報告がありました内房小学校の保護者の皆様からいただきました3点について説明をさせていただきます。まず、登下校のバスについてですが、統合する際の登下校に関する交通手段は確保いたします。ルートや停留所等の詳細につきましては、第1回の協議会で配布させていただきました資料3、協議会の進め方といった資料があったと思いますが、そちらに記載いたしましたとおり、代表者会議の中で協議していただくものと考えております。また、協議会で意見書を作成する際にスクールバスの運行について記載していただきたいと考えております。

2点目の学童の人数確保についてですが、こども未来課の方で確認した結果をお伝えさせていただきます。結論としては、現状の芝富小学校の子が平日に利用している人数と内房小学校のたけの子の学童で使用している方の人数で、今のところ芝富小学校のやまびこの学童には収まりきるということですが、かなり余裕があるわけではないということですので、統合が決まった際には、受け入れるために委託先と協議をしてい

くとのことですが、三つ目の登校した場合の学校名を新しくできるのかについてですが、学校名については、その学校名を変えることについて、市の方から変更します、この名前にしますということは申し上げることはできかねます。ただ、先ほど担当の方からも説明させていただきました通り、芝富小学校の保護者との意見交換会の中では、芝富小学校の保護者様から学校名を変えることについてはいいのではないかという意見が出されておりますので、まず協議会の意見書に学校名を変えて欲しい旨を記載していただき、各学校の代表者で組織する代表者会議の中で協議していただくことになると考えております。

(会長)

今の説明に対して何か質問等はありませんか。とりあえず今の三つが問題ですよ。

(委員)

内房小学校からの要望の2番で学童の人数は収まりきれぬのかという話があったと思うんですけども、今事務局の方の説明だと、現状の利用人数ベースだと収まりきれぬという話があった一方で、余裕はないというところだったんですけども、具体的な人数として今何人ぐらいいて、この許容人数が何人かというそういう数字としてのお話でもしお聞きできればと思います。

(教育総務課総務係長)

芝富小学校の学童の定員は48人です。今芝富小学校で常時使っている方が30人から35人弱ぐらいで、今内房小学校で常時使っている方というのは5人から8人ぐらいということをお伺いしておりますので、定員が48人という面積の中では現時点では収まるのかなというところです。

(委員)

P T Aの話し合いの中で、反対の意見もあるということをおっしゃっていましたが、反対の意見というのはどんな感じですか。

(副会長)

今のままで何も困っていないというか、小規模校の良さを、少ないから良いところを大事にしたいという方も。

(委員)

それはどれぐらい。

(副会長)

半々ぐらいだと思います。

(委員)

具体的な話がまだ出ていなかったもので、賛成、反対というよりははまだそこまでいえない。絶対嫌だという人はそんなにいないと思うんですけど、統合してほしいという人もそんなにいない。

(委員)

まだまだ切羽詰まっていなくて、満足という言葉をおかしいけど、それで成り立ってしまっているというかそんな感じですか。

(委員)

このスクールバスや児童クラブとかの話も、例えば強制的に統合しますよとなっちゃった場合に、これ大変ですよ、特に困るのがこの三つですよというので出してもらっただけなので、何か積極的にどうこうとかっていうことではない。この先の代表者会議というのはどういうふうにやっていくのかもわからない。

(委員)

代表者会議というのは統合するとなった後の話ですよ。最初から細かい話ができないから、これ稲子はまだ入っていないですよ。児童クラブの話にも出てなかったですけど稲子も入るんでしょうか。

(副会長)

代表者会議を作るためには、三つの地区の意見が統合したいですよといった場合にできるものですか。例えば一つだけ統合しましょうという地区があつて、二つ反対の意見があつたら。

(委員)

それでは統合できないよね。二つなければ。

(委員)

逆に半強制で言われないと統合にならないような気がする。それはどこも一緒だと思う。

(委員)

稲子小学校の報告書に書いてあつたんですけど、こどもたちは芝富小に行ってもいい、どうせいつも行っているからいいというようなことはちょっとお聞きしたんですけど、内房小学校のこどもたちはどんな意見を持っているんですかね。保護者の影響は大きいかと思いますが、どんなふうに言っているのか。

(委員)

たまに交流会を芝富小とやったりはしますけど、別に楽しみではない。

(委員)

統合の話とかは、こどもを交えてしないのでしょうか。それとか、今の教育環境とかにこどもが何か不満とか、困ってることとかというのも聞かないのでしょうか。

(委員)

人が少ないからしょうがないと思っただけだと思います。だからといって統合したいと思っただけ。人が多いことを知らないから、例えば運動会とかも多い人数だと楽しいのはわかっているんだけど、それを経験したことがないからわからないですよ。井の中の蛙じゃないけど、だから聞いたところで、わからないですよ。

(委員)

そういう状態を親の方はそれでもいいという人がほとんどですか。

(委員)

現状のままでということですよ。しょうがなく統合になるならしょうがないとどの親も思うと思います。

(委員)

ここまでの具体的な話も今ないじゃないですか。親としては、してもいいって人も、しなくてもいいって人もいる中で、具体的な話がないから、賛成だねとはならないじゃないですか。スクールバスとか学童の話が返ってきたのは今じゃないですか。

親としてはここがやっぱりネックな部分であって、学童だったり、学校名だったりというのは、それも出てきてない前に、反対も何もないですよ。

(委員)

この前話し合った時も何を話したらいいのかという感じで、すごい反対している人はいますかぐらいの感じで終わりました。結局、保護者を集めたんですけど、こういう話がないから、その前に何回か話し合っただけで、親はそれなりに言った、ここはしてほしいここはしてほしいと言ってたけど、その返答が返ってきてなかったから集まったところで話はできなかつたですよ。何がどうなったのっていうそれに対して意見を言うのだったら意見も多分出てくるんですけど、返ってきてないから、意見もまだないですよ。

(委員)

結局、最終的に代表者会議で話し合うという結論だったから、これで今の段階でこれからまた保護者の話をしても変わらない。

(委員)

代表者会議は統合って決まらなければ、代表者会議はないですよ。

(教育総務課総務係長)

芝富、内房、稲子小の内1校だけでは統合できないので、例えば芝富小がいいですよ、稲子小学校がしますよというお話でしたらそこで進めて、最初にその2校で統合の話を進めると考えております。その2校での代表者会議というところは開かせていただいて進めていくようになって考えています。

(会長)

3校でやらなければ意味がないんじゃないの。そうすると統合に入ってこない可能性もあるの。

(委員)

そのうち柚野もなんて書いてあったから。

(会長)

その問題は後の話です。よろしいですか。納得できないのは、統合ありきで話を進めないと言った。この際、統合どうしますかって話じゃないでしょう。教育委員会としては、はっきり言っちゃえばいいじゃないですか。統合したいんですけど、どうしたらいいでしょうって話をしないと、いつまで経っても話が進まないですよ。ただ、市の運営として、教育委員会として、もう統合せざるを得ないんじゃないという話を持ってきてもらわないと、協議会だって何だって話にならないですよ。

(教育総務課長)

ありがとうございます。そういうことであればぜひ、教育委員会といたしましては、芝富小に内房小も稲子小も統合、そのような形が望ましいと考えております。

(会長)

望ましいということはそうですよね。統合しないという可能性もまだ残っているということですか。

(教育総務課長)

残っているということではなくてですね。

(委員)

地域の意見を尊重するということですか。

(委員)

これって2校が賛成したら2校で統合するんですか。

(教育総務課長)

仮にですけども、3校中の1校が渋ればそういう形にはなろうかと思いますが、先ほど私申し上げたようにできれば、その何度も何度も統合というのは避けたいものですから、同時期にやればそれが望ましいなど。それは北部地域も同じ形で今進めていますけども、先ほど副会長がお示したその3点について、今日ご回答させてもらって。それをまた受けて、お話をさせていただければいいかなとは思いますが。

(会長)

統合ありきでの話をするしかないでしょう。その辺がはっきりしないから、わからなくなってしまうんだよ。今の学校の雰囲気を見て、私は子どもたちが楽しくやっているから、確かに一人の子どもがかわいそうと思ったけど。一緒になって大きいところに行った方がいいか、今のままでいいか。私にも結論は出せません。将来10年後にどうなるかわかりませんが。市としてはもう、統合で進むなら進んでいますという形で言わないといつまでたっても話が進まない。

(教育総務課長)

私個人の意見ですけど、立ち上げるに至ってこれまで保護者懇談会であるとか、地域説明会とか、何回かやらせていただいた中で、まず教育委員会としては統合に向けた意見があったなというところの中で、この協議会を立ち上げて、そこに向けて話していければなというところで立ち上げさせてもらっていると認識しております。高校生が参加してくれた会があって、そのお子さんがやはり自分の経験上、すぐにでもすべきだなんて意見も、実際その子は内房小を出た子だったんですよね。今小学生の子に聞いても、その子は大規模校も経験してないですし、今の学校が一番いいと感じているとお子さんは思うんですよね。ですが、そういう子が高校生になって、きっとその子からするとクラス替えができたり、ある程度の規模でやれるというのが良いと感じてあのおとき発言してくれたのかなと私は感じました。ですので、いろいろ保護者のお考えもあるでしょうけれども、あのおときの皆さんの意見を私が聞いてると、やっぱり子どもたちのことを考えると、ある程度一定規模の中で教育を受けるということが望ましいのかなんていうところで、今やっている段階も市の方で令和6年4月に、適正規模適正配置の基本方針を定めて取り組んでいます。それが繰り返しになるかもしれませんが、何の基本方針かという、複式を解消しようというところで、今やっているものですから、その辺ぜ

ひご理解いただいて、ぜひ持ち帰っていただくでもいいですし、ぜひ芝富小に統合するような方向で皆さんに協議していただければと思います。

(副会長)

この意見交換会のときに私もその場所にいたんですけど、実際、あの子たちは、今の子どもたちより人が全然いるんですよ。クラスも2クラスとかあって、クラス替えができるんじゃないですか。でも今の子どもは1クラスしかなくて、小1から中3までだと9年間ずっと変わらないわけじゃないですか。今、中学でちょっと変わるというのは何かちょっと刺激があったりして、1クラスで9年間過ごすというのは、すごい楽しかったらいいですけど、もし、友達関係とかでつまずいちゃったら、もう9年間一緒だと思うと、多分学校に行けなくなっちゃう子とかが絶対出てくると思います。例えば、人数を15ぐらいで二つに分けるみたいな、何かそういう逃げ道じゃないけど、そういうことを考えてもらえたら、統合してももうちょっと居心地よく過ごせるのかなと思います。やっぱりこの子どもと一緒にクラスになりたくないですとか、中学校の子なんてよく学校に言ったりしているのは聞いているので。

(教育総務課長)

ただ、35人という基準があるので36人であれば二クラスでできるんですけども、逆に違う質問をさせていただきたいんですけども、例えば今そういう中でクラス替えができないときに、そういう状況になったという話をされましたが、例えば内房小はもっと少ないじゃないですか。例えば、3人とか5人で何かとなると、後1人だけが弾き出されてしまうという、例えば30人いると、ある程度10人ずつぐらいのグループがあったりすると、こっちのグループで何かあっても、こっちでなんていうのはあるのかもしれないですけどいかがでしょうか。

(副会長)

例えば5、6年生と一緒に遊んだり、1年生と4年生が仲良くしてという形です。それがいいところかなと思います。

(委員)

校長に聞けばいいんじゃないでしょうか。

(校長)

副会長がおっしゃるとおり、クラスも少ないからファミリーみたいなところがあって、はぶるというのは逆にないです。

(委員)

少人数のいいところが出ているんですね。まだ中途半端に少数じゃないから、今の6年生が8人で多いから、もっと下が4人とか3人になってくると、例えば修学旅行とかそういうのも全然変わってくるから、そうなるデメリットが多くなる。

(委員)

まだ実際にそういうふうになってないから、今6年生がそのぐらいいるもんで。

(委員)

本当に教育委員会の方でもう少し、あと一段もし統合させようとさせる方向でという

ことであれば、もうちょっと強い引き出しというか、何かがないと、今までどおりこんな話になってそれでまた次回となると。

(委員)

代表者会議は誰が出るのでしょうか。

(教育総務課総務係長)

こちらの協議会と同じように、人数が少なくなるんですけども、地域の代表だったり保護者の代表だったりというところを今考えております。

(教育総務課長)

今、代表者会議なんて話をされていまして、もうそっちの方という協議会の中でそういう意思統一ができるのであれば、先ほど担当が説明したように意見書の作成に入っ
て、そういう意思を協議会で示していただければ、それをもって芝富の方にも話してい
きますし、そういうことであれば稲子でもそういう働き掛けをさせていただきたいと思
います。

(会長)

ある程度内房小学校の考え方を持って代表者会議の会議に臨まないと、訳が分からな
くなる。

(委員)

そこまでいってないんじゃないですか。詳細は代表者会議で話し合いたしよと言っ
てるくらいですから。代表者会議の中身が知りたいですよ。逆に言ったらそこで時期
がすごい遠くなるのか近くになるのか、はたまた話がなくなるのかもしれないけど。

(委員)

代表者会議というのは、あらかじめ統合するという方向性が合意できて、それから代表
者会議というのを設けると。

(委員)

代表者会議でスクールバスのことが決められて、バス停とか何か嫌だったら変えら
れるんですか。代表者会議で決まったら進むんじゃないですか。

(委員)

その詳細を話し合う場が代表者会議じゃないんですか。

(委員)

皆の代表だからね。今度は芝富も交えて具体的な話ができる。

(教育総務課総務係長)

スクールバスの停留所とかコースとかにつきましては、その年その年で児童の通うと
ころとか家とかが変わると思います。実際、清水区の統合した学校の保護者の方にいろ
いろ聞きに行ったんですけども、その学校は、その年度で今ここに児童がいるからこ
こで停まるのがいいよねということ、バスの方と話をしてその年その年で柔軟に決め
ていくので、遠くなっちゃうなんてこともなくできるよなんて話も伺っております。で
すので、今後話が進んでいく上ではそういったご意見も伺いながら、柔軟に対応でき
るような方向がいいのかなとは考えております。ですので、ここで決まったから、いやそ

うじゃない、元に戻らないなんていうことはないと考えております。

(委員)

それは小学校としてのスクールバスですか。中学生も乗れたりするとかという話までは、結局小学校スクールバスで帰ってきて、中学校迎えに行くんだったら同じだと思う。そこも頭に入れておいてほしいと思います。

(教育総務課総務係)

一般的なスクールバスといえば、小学生が学校まで乗っていくという話になります。これはまた今後の協議次第ですけれども、先ほどおっしゃっていただいたとおり中学生ですとか地域の方々が乗るのかというのは、ちょっと先の話になると考えています。

(委員)

市長の令和8年度施政方針というのがあるんですけれども、それが少子化による児童生徒の減少を踏まえて、これから学校の再編に取り組みますと書いてあります。町のトップがもう再編していきますよと言っているわけですので。

(会長)

教育委員会から言ってもらわないと。

(委員)

市長によって教育委員会も動くわけでございますので、もし皆さんが市がこうやって統合をしていきますよといったら、それはそれで皆さんが受け入れていただけるということなのかということと、それと段取りとして、合併のときもそうだったのですが、まず合併をするかしないかが最初でした。それから合併協議会というところで話し合う。

(会長)

統合するとはっきり言って、それで話を進めますと言っているのにちゃんとやってこないじゃないですか。

(委員)

そういうお考えもあるかもしれませんが。

(会長)

市の方針で学校の統合はもう決まったってことなんですか。

(委員)

やっぱり学校というのは地域のコミュニケーションの核になります。だから教育委員会としてもこうやって市民の皆さんのお考えとかいろいろ聞いていくというのが一丁目一番地なんです。それが尊重するということだと思います。ですので、そういうお立場にいるということもご理解していただきたいなと思います。ですので、もしが統合するのかしないのか、そしてそれが決まってから、その協議会の中でいろいろなことが決まっていくということです。

(会長)

ずっとそう言っているじゃないですか。統合が決まったら話を進めますよと。それで言ってこないから、いつまでたってもまとまらないって。我々としては、小学校が残った方が良いに決まっています。

(委員)

地域の人たちからすれば、みんなそう思っていますよね。やはりナイーブで難しい問題なんです。難しい問題だから丁寧に今ご説明をしているわけですので、ぜひ市がもしそういう方向性を出してきたら、皆さんが今までお話を聞いていれば受け入れざるを得ないというか、受け入れてくれるような、今そんな感じを受けたんですけど、そういう考えでお間違いないのでしょうか。

(副会長)

私は地域に小学校がなくなったら、この地域がどうなるのか。地域にこどもがいるから明るいというか、こどもが地域の核になるからなくなってしまわないですか。それは、もうちょっと統合しても何かここで残せるものを必ず残してもらわないと思います。これまでいろいろとやってきたものがなくなってしまうのは地域の人も寂しいと思います。地域との交流もしっかり考えての統合じゃないとしないと思います。

(委員)

他市町の現状を見ますと、そこを核にして、また新たなコミュニケーションを作ったり、いろいろな活動が活発になったり、いろいろなものに発展しているというところの例はいっぱいあります。ですから、これはやっぱり地元住民と、そして教育委員会とか、たくさんの方と話し合っ、地域を盛り上げていくというところで、何とでもなる話だと思っておりますけれども、皆ここにいる人は皆内房で生まれ育っているんです。この地域で学校がなくなるというのは皆さんと同じような気持ちであります。

(委員)

こういう形で話ができましたので、今度またPTAの方の心配事も含めた上で市の方の考えを出してもらったらどうですか。

(委員)

これ以上は出ないんじゃないですか。

(委員)

市の基本方針ですとか、適正規模に対する考え方とか。

(委員)

それは最初に説明を受けました。統合しなければならないというのはわかっています。

(委員)

それをもう一步市が踏み込んでくれればいい。

(教育総務課長)

市の方から次回お示しさせていただくということでよろしいでしょうか。

(会長)

皆さん他に何かありますか。

(委員)

第1回の時に令和9年と10年に統合する場合のスケジュールを示してもらったけど、教育委員会はそういうことで考えているわけですよね。

(教育総務課長)

何年かというのは当然皆さんの意見を聞いた上でそういう方向性で行きたいと考えています。

(委員)

いつまでも皆さんの意見を聞いたってまとまるわけないですから。

(会長)

あとは何か意見がなければ、本日のところは終わらせていただきます。

4 次回の予定

第3回は令和8年度以降になることから、委員の変更があれば手続する旨を伝えた。また、次回の日程は6月以降で、時間は午後7時から、会場は内房分館とした。

5 閉会

(副会長)

今日はお忙しい中、今後もよろしくお願ひします。どうもありがとうございました。